

温泉に入る時の注意点

- ① 服は脱衣所で脱いで籠に入れる。
- ② 湯船に入る前に、身体を洗う(すすぐ)。石鹸、シャンプー、リンス(コンディショナー)は、風呂場に用意されている。(床が滑りやすいので注意)
- ③ 髪が長い場合はゴムやタオルで束ねて、湯船に入らないようにする。
- ④ お湯の温度は40〜43度ぐらいで(欧米人には)熱く感じるので注意。
- ⑤ タオルで体を拭いて脱衣所に戻る。

(タオルは部屋から持っていく場合と、脱衣所に用意されている場合があるので、チェックインの時にフロントに確認して、あらかじめ案内しておく)

また浴衣は、女性でも左襟が上になるように着ること、旅館では夕食やお風呂に浴衣とスリッパで行って良いが、ビジネスホテルでは禁止されていることも伝えておく。一度東京のビジネスホテルで、男性のお客様が部屋に備えられていたパジャマ姿で外に出かけ、ホテルの人に注意を受けたことがある。

● 箱根観光(芦ノ湖遊覧と駒ヶ岳ロープウェイ)

箱根の観光は、大きく分けて2種類のコースがある。登山鉄道で大涌谷へと行き、ロープウェイで桃源台まで下るコースと、駒ヶ岳ロープウェイで駒ヶ岳山頂へ上り、芦ノ湖の遊覧船を楽しむコースである。

今回のツアーは大涌谷への登山鉄道が台風で運休している時期だったので、箱根園に1泊した翌朝、駒ヶ岳ロープウェイで駒ヶ岳山頂へ上り、山頂から富士山を見渡し、下山後は箱根園港から芦ノ湖クルーズを楽しむという午前中だけの半日コースであった。

クルーズは20分コースで箱根園所、元箱根または塩尻まで行く定期船もあるが、今回は観光後にまた箱根園で昼食が含まれていたため、乗船場に戻る40分の周遊船コースであった。

定期船の場合はバスの運転手に回送してもらって時間を伝えておかなければならない。

「箱根駒ヶ岳は標高1356メートルの山です。私たちは、ホテルの近くの乗り場からロープウェイで山頂まで行きます。今日はお天気がいいので、富士山がきれいに見えます。良かったですね。芦ノ湖から富士山が見える日は(半日以上見える日)は、年間平均140日くらいだそうですよ(大涌谷からは180日ほど)。確率40%ほどです。見えない日の方が多いのです。冬は空気が乾燥しているので50%くらいだそうです。梅雨の時期である6月は月に2日ほどしか見えないそうです。日本人は6月にはあまり旅行をしませんね。梅雨であるとともに、祝日も夏休みも冬休みも春休みもありませんので。この時期が好きでない日本人は多いです。話がそれましたが、ロープウェイに乗る時間は7分ほどです。1327メートルのところまで行けます。ほぼ頂上近くまでロープウェイで行けるのです」

山頂での時間は、下りのロープウェイの時間、その後の遊覧船の時間に合わせて調整したい。時間帯によっては、先にクルーズ、その後でロープウェイということもある。箱根園エリアには水族館もある。

芦ノ湖は海拔723メートルのところにある細長いひょうたんの形をした湖である。

「芦ノ湖は冬でも凍らないのですよ。夏の暑いときは泳ぎたいところですが、遊泳は禁止されています。冷たい湧水が出てくる所があり危険だそうです。芦ノ湖は約3000年前に誕生した湖です。箱根のカルデラの中央火口の一つである神山が噴火して、川をせき止めてできた湖なのです。面積は約7平方キロメートル、周囲の長さは約20キロです。最大水深は43.5メートルです」

箱根園を出発した遊覧船は、途中箱根園所と元箱根港に寄って(お客様が下船しないように注意)、箱根神社を見ながら戻る。

「箱根園所は、17世紀(江戸時代1619年)につくられました。大名の妻が江戸から出るのを防ぐためと、鉄砲が江戸(東京)に持ち込まれることを防ぐのが主な目的でした。日本国内における昔の入国管理所兼税